

学校法人などとの連携強化

福岡農業高校と包括連携協定を締結

福岡県立福岡農業高等学校と7月7日(木)、包括連携協定を締結しました。

この協定は、まちづくりビジョンに則ったもので、本市における人的交流や協働の取り組みを通して、地域の活性化や次代を担い世界に羽ばたく人材育成を目的としたものです。

本市と同校はこれまでも史跡地の梅を活用した「令和発祥の都太宰府『梅』プロジェクト」や子ども食堂などで連携しています。

今後もさらなる連携を図り、協働のまちづくりに取り組んでいきます。



協定締結式の様子

安全・安心のまちづくり

グリーンコープ生活協同組合ふくおかと「災害時における物資供給及び被災者支援相談等に関する協定」締結

グリーンコープ生活協同組合ふくおかと「災害時における物資供給及び被災者支援相談等に関する協定」を7月5日(火)に締結しました。

この協定は災害時の物資供給に加え、本市とグリーンコープ生協ふくおか独自の取り組みとして、災害時の「被災者支援相談」を取り入れています。

本市では、災害時に備えてさまざまな協定を締結しています。大規模災害時に行政のみで対応できることに限りがあるため、平常時から企業・団体などと協力関係を結び、災害時の速やかな応急対策活動・支援協力体制を構築しています。



協定締結式の様子

団体からの寄附

太宰府ライオンズクラブ図書贈呈式

太宰府ライオンズクラブからの寄附金で、小学校図書館の図書を購入しました。7月14日(木)に太宰府小学校で行った贈呈式には、ライオンズクラブ国際協会元国際理事の不老安正さん、太宰府ライオンズクラブ会長の野崎貞正さん、同会の林耐さんが出席し、目録を学校へ贈りました。

児童を代表して図書委員長の伊藤大輝さんが「図書委員会でのイベントや調べ学習などで活用していきたい」と感謝を述べました。



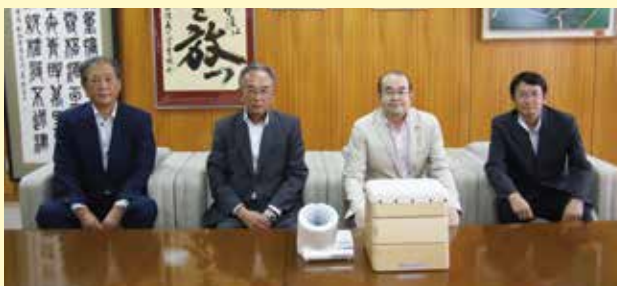
寄附を受けた児童たちと贈呈式参加者

団体からの寄附

筑紫地区建設コンサルタンツ協会が血圧計などを寄贈

一般社団法人筑紫地区建設コンサルタンツ協会から8月5日(金)、市民の健康管理に役立つ血圧計と子どもの発育に有効なミニ跳び箱の寄贈を受けました。血圧計は保健センターに、ミニ跳び箱は子ども発達相談室(きらきらルーム)に設置します。

同協会では、地域のために役立つことをとの思いから、平成15年より毎年筑紫地区の自治体に車いすなどを寄贈しており、今回で20回目となります。本市もこれまでに車いすや遊具の寄贈を受け、市内の公共施設で活用しています。



寄贈を受けた血圧計・ミニ跳び箱と出席者